

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画策定及び対策実施により、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化が図られた。 ・合流式下水道の雨天時の放流水質の向上や未処理水の放流回数の削減を行うことにより、公共用水域の水質保全が図られた。 ・民間設置型の雨水貯留施設の普及により、雨水流出の抑制が図られた。 			
定量的指標の達成状況	指標（管きよ の長寿命化完了 区間）	最終目標値	26km	目標値と実績値 に差が出た要因	概ね順調な進捗であった。
		最終実績値	28km		
	指標（下水処 理場の長寿命化 計画策定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	概ね順調な進捗であった。
		最終実績値	100%		
	指標（下水処 理場・ポンプ場 の長寿命化対策 済か所数）	最終目標値	9か所	目標値と実績値 に差が出た要因	概ね順調な進捗であった。
		最終実績値	9か所		
	指標（合流式 下水道改善率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	概ね順調な進捗であった。
		最終実績値	100%		
	指標（民間設 置型の雨水貯留 施設の設置基 数）	最終目標値	460基	目標値と実績値 に差が出た要因	重点的に広報活動を行ったことによる。
		最終実績値	621基		
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント計画を策定し、引き続き老朽化対策を行う。 ・引き続き民間設置型の雨水貯留施設の普及を推進することにより、雨水流出の抑制を図っていく。 					